

北海道稚内市

課題

- 「地域のために何かをしたい」など社会貢献に意欲的な市民(プレイヤー)の思いを具体的な形に出来る場が限られている。
- 社会貢献活動を担う団体のネットワーク、支援体制が不十分

実現を目指していく地域のイメージ

- 「地域を元気にしたい」と思う市民や団体の力を結集し、新たな絆づくりによる地域課題の解決、地域活性化を実現する。



調査事業の概要

- まちづくりへの参画意向調査(回収約300)
 - ・アンケート調査(市民、企業)
 - ・ヒアリング調査(団体)
- 他都市事例調査
 - ・京都市みらい100人委員会
 - ・NPO法人 home's vi(京都市)
 - ・(株)神戸ながたTMO(神戸市)
- 講演会、パネルディスカッション

参加者からアイデアを引き出す手法や場づくりの専門家による講演会、本検討委員会委員等によるパネルディスカッション
- 検討委員会

3回開催



対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

まちづくり団体や町内会、まちづくり委員会など、それぞれが個別の課題解決のための活動を展開。

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

- まちづくりサポーターの発掘とネットワーク化
- 稚内市外在住のサポーター(稚内出身者など)の発掘
- 支援を必要としている団体、NPOの把握
- 両者のマッチングの場づくり
- まちづくりプラットホームの構築
- 市外の専門機関や学識経験者との連携強化

<今回の調査により得られた新たな課題>

市内15地区に設置された「まちづくり委員会」の活動状況の落差が大きく、本委員会をベースにオール稚内で絆づくりに取り組むには時間を要することが明らかとなったことから、市内の意欲ある団体を中心にサポーターとのマッチングを行うこととしたい。

また、プラットホーム構築にあたって、事務局機能のあり方が課題である。(当面は行政での対応を検討)